



いずみ野



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/>

MS | ブックレンジャーの装飾

実りの秋 ～ 主体性と自己有用感 ～

校長 齋藤 敦子

子どもたちはすっかり学校のリズムを取り戻し、元気いっぱいの声が響いています。5年生は三浦宿泊体験学習を終え、大きく成長（5分前行動、自分の役割をしっかりと果たす、さりげない助け合いなど）して帰校しました。翌週の振り返りの時間で次のような場面に遭遇しました。子どもたちは、担任の「来年度は閉校の年、皆はいずみ野小学校が閉校する最高学年」を受けて、「これから6年生への修行の道の始まりだ！」「この宿泊体験学習で2段階も3段階もステップアップしたから…。」「プレッシャーだけど、頑張らなきゃ！」など、頼もしい声があがっていました。こうして子どもたちは、本物の体験を積む度に主体性や自己有用感を高めていくのでしょうか。学校では、まもなく令和5年度閉校記念事業の準備委員会が立ち上がろうとしています。

さて、いずみ野小学校の田んぼや畑は実りの秋を迎えています。10日（土）はサポーターズの皆様から稲を干すほだ用の丈夫そうな竹を切ってくださいました。竹は畑の清掃を兼ねたバウムクーヘン作りで、活躍するそうです。これから、米の収穫やイモほり、学び隊の冬野菜づくりなど、楽しい活動が続きます。支えていただいている保護者の皆様、地域の皆様には、改めて感謝申し上げます。



今年の米つぶは大きい！



サツマイモほりが楽しみ！



学び隊：コマツナの他4種類



MS | 学習教室

教室を回っていると、どの教室でも運動会に向けてのスローガンを考えていました。「全力」「協力」「力いっぱい」等、タブレット端末を使って自分の思いを書き込み、皆の考えを一つの画面に共有する高学年、「〇〇な運動会にしたい！」と思い思いに考えを出し合い、黒板は子どもたちの考えでいっぱいになる低学年、子どもたちの主体性が育つ一場面でした。今年の運動会（10月29日）も午前（弁当無し）と人数制限での開催予定です。10月中は練習に汗を流し、一生懸命な姿を見せてくれることでしょうか。ご家庭におかれましては、毎日の健康観察や水筒、汗ふきタオル等のご準備をありがとうございます。当日は、元気いっぱいの子どもたちに応援をよろしくお願いいたします。

前期もあと少しとなり、令和4年度も折り返し地点にたどり着きました。子どもたち一人ひとりが前期の自分の成長を振り返り、実りの秋に向けて「〇〇したい！」と思えるような取組を続けてまいります。

～ 誰一人 取り残さない学びの機会を ～

横浜市では、やむを得ない事情で一定期間教室で授業が受けられない児童が、別室（本校では多目的室等）や自宅等で学習できるように、「横浜どこでもスタディ」という取組があります。担任や児童支援専任（鈴木知子）にご相談ください。お子さんの事情に応じて学ぶ方法を考えていきたいと思えます。教室に登校できない児童も、家庭や諸機関と連携して、一緒に考え支えてまいります。（例：学習支援教材の活用、オンラインでの朝の会、ロイロノートによる資料配付、はまっ子ドリル等）